

# 関西・大阪の魅力向上へ ～中之島宣言

当協会創立30周年記念事業として4月25日に開催した『関西・大阪文化力会議』は、基調講演やパネリストに著名な論客を迎え、のべ1,600人の参加者を得て有意義に終えることができました。関係各位のご協力に感謝したいと思います。

とくに文化は生きる力の源泉であり、イノベーションを生む力ともなり、経済発展のためにも不可欠であること、多様な文化の交流、融合から創造が生まれ、文化などのソフトパワーが世界の平和と安定のために極めて重要であること、和魂和才の発祥の地である関西・大阪を起点として文化経済大国をめざすべきことなどが改めて確認されたことは、大きな意味を持つと考えます。これを単なる会議で終わらせることなく、『中之島宣言』で提案された内容を実際に具現化して関西・大阪のために活かして行かなければならないと考えています。

## 大阪城を舞台に世界的な フェスティバルを！

一つ目は、大阪のシンボルである大阪城を中



大阪城サマーフェスティバル 2010  
「アノインテッド・マス・クワイヤー」



大阪城サマーフェスティバル 2010  
西の丸庭園ステージの会場風景



大阪城サマーフェスティバル 2011  
「浪華の夢～城を築くぞ、俺たちは」より紀州九度山真田太鼓

心に世界から注目されるようなフェスティバルを創出することです。

当協会は「大阪城サマーフェスティバル」として、すでに7年にわたる社会実験を行っています。このイベントは大阪城周辺で実施される様々なイベント主催者が集い、各イベント間の連携を図りながら、官民一体となった共同PR等を通じて、「大阪城のブランド力の向上」「大阪の芸術文化の情報発信力強化」「大阪の賑わい創出と観光集客の促進」のために始まりました。

今年度は、さらに新たなプログラムを幾つか加えて、内容の一層の充実を図るほか、フリンジ（周辺プログラム）を実施することで賑わいを増し、前年以上の集客を目指してスタートします。この「大阪城サマーフェスティバル」をベースに、世界的なフェスティバルへと飛躍させたいと願っています。

## アーツカウンシル設立の 実現に向けて！

二つ目は、アーツカウンシルの設立です。文化支援先進国である英国におけるアーツカウンシルの事例を参考にしながら、大阪版アーツカウンシルの創設に向けて検討をスタートします。

英国においては、「文化」は地域活性化、経済発展の役割を担うものとして明確に位置づけられており、文化振興・支援は「助成」でなく「投資」と扱われ、投資の目的や実施後の成果を明確にすることが求められています。また、

政府や自治体のスタンスも「金は出すが、口は出さない」という「アームズ・レングスの法則」が明解にあり、文化芸術の表現の自由と独自性が維持できています。

このような枠組みの中、エジンバラでは、世界遺産である美しい町並みや象徴であるエジンバラ城を活か

# 新たなミッションを始動！ を受けて～

公益財団法人 関西・大阪21世紀協会  
理事長 堀井 良殷

して、世界的なエジンバラ・フェスティバルが開催されています。フェスティバル期間中は100万人以上の観光客で賑わい、その経済効果も1億4,000万ポンド（約175億円）と試算されています。

しかしながら、大阪の現状は長引く財政難によって文化事業予算は年々削減され、文化活動は一層厳しい緊縮を迫られています。一方、行財政の改革は待たなしの状況であり、府民のみならず国民の多くが改革に期待を寄せているのも事実であります。

大阪版アーツカウンシルは、なにわ流に民間の力を主体に「タニマチ文化評議会（仮称）」として立ち上げていきたいと考えています。今後、具体的な制度設計を進めていきます。

また、当会議で提案された「和魂和才」「和使（わのつかい）」についても研究し、世界の文化サミッ



エジンバラ・フェスティバル・フリンジでストリートパフォーマンスを行う大道芸人

(写真提供：Edinburgh Inspiring Capital)



エジンバラ城の広場で行われるミリタリー・タトゥーに集まったパフォーマーたち  
(写真提供：Edinburgh Inspiring Capital)

トにもつなげてゆきたいと夢が広がります。

## 文化の新たな地平を開く！

当協会は、今年4月に設立30周年を機に公益財団法人となり、名称も「大阪21世紀協会」から「関西・大阪21世紀協会」に変更して新たなスタートを切りました。

「文化は社会の活力の基本である」という理念を柱に据えて、新しい地平線を開いていくシンボリックな社会実験に取り組み、点を線に、線を面につなぎながら推進していきます。加えて、文化の底力となっている人たちを応援してまいりたいと考えています。

また、公益財団法人化にともない、当協会に寄せていただく寄付は所得控除の対象となりました。個人の方々にも呼びかけて関西・大阪の文化のために「志」を募るとともに、寄付をいただいた方には「こういう形で使いました」ときちんとしてフィードバックする仕組みをわれわれで作っていききたいと思っています。

## 伝統の上に 新たな創造を加え次代へ！

われわれが、本当に力を発揮するためには、自分たちはどういった土壌の上に生きているのかを知ることが大切です。われわれは突然今を生きているのではありません。長い歴史と伝統

の延長線上に今があり、その先には次世代、次々世代の未来があるのです。現在は通過点にすぎず、我々は伝統の上に新たな創造を加えて、次世代に引き継いでいく責任があります。そのことで、関西・大阪の知名度と価値を向上させていくことこそが、われわれの存在価値であり使命だと思っています。